

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2024年7月21日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



巨大給食センターではなく学校調理の中学校給食を！



市長に訴え！
党議員団から

「よりよい中学校給食をめざす署名推進実行委員会」は、7月9日に署名を提出しました。5月12日からスタートした署名は、短期間の間に33,985筆が集まりました。当日の署名提出前の宣伝・集会には40人もの市民が参加されました。京都市は、市民の声に押されて、1か所の巨大給食工場の方針を一部変更し、民間調理場の活用も検討と言い始めています。しかし子どもたちの食の安全安心の担保にはなりません。小学校の児童数が減っている中、調理室は余裕が出ています。そこを活用して、直ぐ近くの中学校に運べば、直ぐに温かい中学校給食は実現します。できるところから始めるべきです。署名をもって地域を回っても、関心が高く、高齢者の方も「孫のため」と署名をしていただけました。さらに目標の10万筆まで署名を積み上げて、自校方式の温かい給食を実現するために力を合わせましょう。

議員日誌 「酷暑から市民の生命とくらしを守るための緊急申し入れ」

日本共産党京都市会議員団は、酷暑の中、市民の命と暮らしを守るための対策は、一刻の猶予もないとして、緊急申し入れをしました。主な内容は以下です。

『猛暑日が続く中、7月9日、総務省消防庁は今年7月1日～7日の1週間に全国で9,105人（京都府では246人）が熱中症により救急搬送されたと発表しました。京都市ははじめ自治体では熱中症予防の注意喚起等がおこなわれていますが、熱中症により亡くなられる方もおられ、山口県ではエアコンがついていない室内で70歳の方が亡くなられる事案も起こっています。』

熱中症等で生命を脅かす危険な暑さの中でも、「電気代を心配してエアコンをつけない」「工が壊れても修繕や買い替えができない」という声が寄アコンせられています。経済的支援など市民の生命を守るための実効性ある対策が急務です。

- ▶ 熱中症から生命を守るため、電気代への支援を緊急に行うこと。
- ▶ 非課税世帯をはじめ生活困窮世帯への生活支援給付金を市独自に実施すること。
- ▶ 生活保護世帯への夏季見舞金を支給すること。
- ▶ 政府に対し、同内容を緊急に要望すること。』



7月特別市会に提案された議案の1つに、小栗栖排水機場が停止し、広範な小栗栖地域に浸水被害を起こした事件について、京都市は当時、運転監視業務を委託していたオグラロード・サービス株式会社に對して、約1億3136万円の損害賠償を請求する訴えを起こしていました。これに對して、京都地裁判決は京都市の訴えを1部は認めましたが、これを不服として、大阪高裁に控訴をする提案が出されました。共産党市会議員団は、控訴に賛成をしました。



小栗栖排水機場停止による損害賠償の地裁判決に對し控訴

困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください!!
☎621-6717